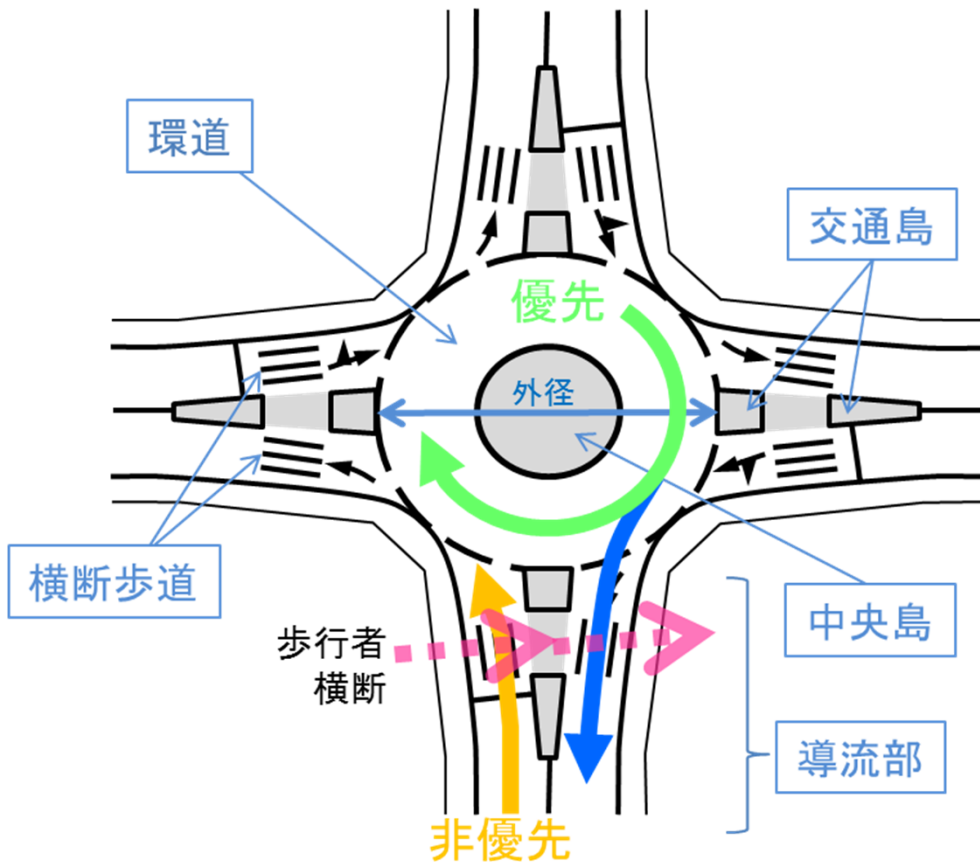


新磐田スマートICにおける
さらなる安全対策
(ラウンドアバウト)

検 討 中

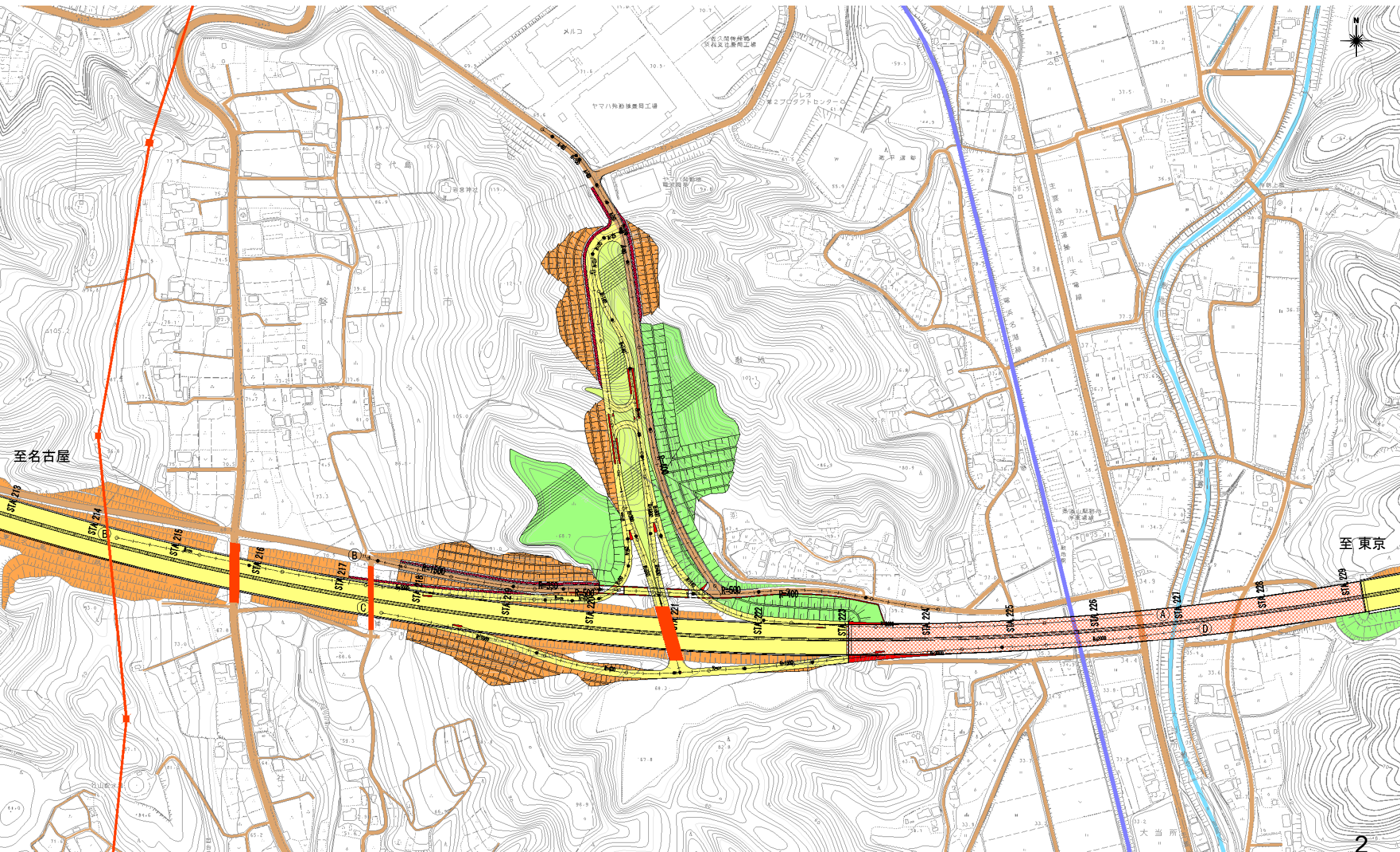
ラウンドアバウトとは

- 交差点の中央に円形地帯(中央島)を設け、車が交差点内を時計回りの一方通行で走行する仕組み。
- 中央島の環状道路を走る車が優先され、車は左折してそれぞれの目的の道路に流失する。環道優先、かつ信号機が不要な交差点制御となる。
- 県内一般道路では、焼津市で社会実験を開始する予定です。



出典: (株)飯田ケーブルテレビ

現在の計画平面図(平面Y型インターチェンジ)



さらなる安全対策

全国的にも平面Y型インターチェンジは、安全に運用されているものの以下に挙げる課題が懸念されている

- ・平面交差点部への流入するオフランプ車両の速度が40km程度となり、オンランプ車両との衝突事故(重大)の生じる可能性がある
- ・平面交差点部でオンランプ車両が左折すると、逆走する可能性がある
- ・信号設置される場合、停止により無駄な待ち時間が生じる

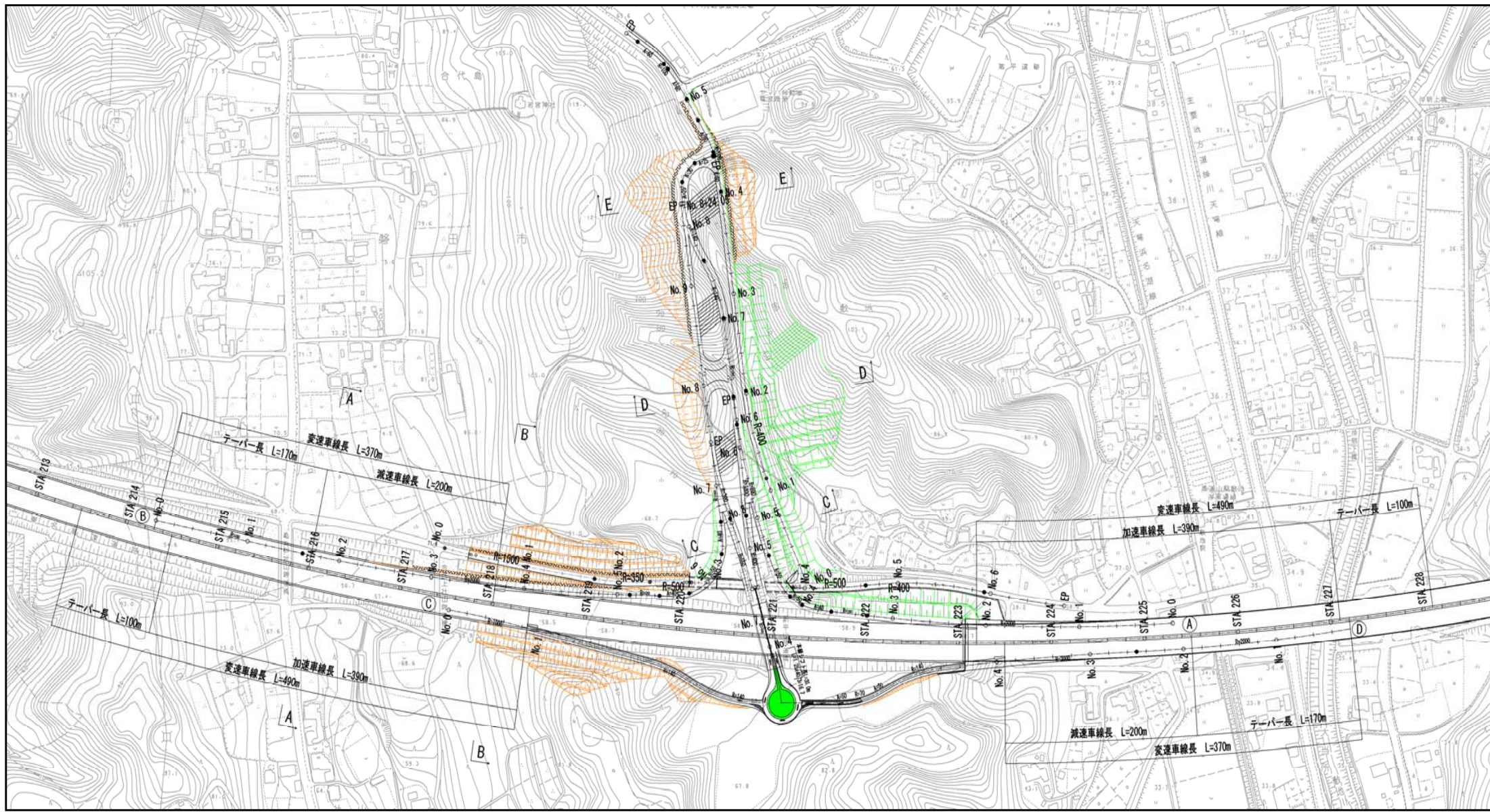
新磐田スマートICにおける現地条件

- ・オフランプが登り勾配(速度が低減しやすい)
- ・平面交差点部に平坦なスペースがある
- ・計画交通量が少ない

さらなる安全対策として、
ラウンドアバウト併用平面Y型インターチェンジを提案

ラウンドアバウト 交差点部 計画平面図(案)

検討中



ラウンドアバウト 交差点部 平面図(案)

検討中

